



市民協働事業

よみがえれ 水口岡山城2015

4月17日(金)から20日(月)までの4日間、古城山西の丸に巨大なお城/バルーンが出現。夜にはライトアップされ、古城山に浮かび上がる幻想的な城がご覧いただけます。また19日(日)には、山頂から花火があがります。

フォトコンテストも同時開催。詳細は、ホームページをご覧ください。

問い合わせ
(一社)水口岡山城の会
☎070-5509-4646 / ☎65-2346
HP <http://okayamajyo.com/>



▲生徒といっしょに夕ご飯づくり

今年度も神戸市から5校、神奈川県から2校の中学生約1000人が、5月～6月にかけて当市を訪れる予定となっており、この事業にご協力いただける受入家庭を募集しています。

民泊の受入家庭を募集

市では、近年の田舎暮らしや農村体験などの需要の高まりを受けて、都市農村交流事業(忍者の里こうかで田舎体験)を推進しています。主に都市部の中学校の教育旅行(修学旅行や野外体験)を対象に、本市の自然や人々の温かさをアピールするため、民泊により受け入れています。

親戚の子どもを預かるように

●各ご家庭に3～4人の生徒を受け入れていただきます。
●共同調理や農村体験などを通して生徒とたくさん交流を深めてください。
●特別なことをするものではありません。田舎での暮らしを体験し、交流するところが、この事業の目的です。

詳しくは、事前に研修会を開催し説明させていただきます。興味をお持ちいただいた方は、左記までお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ
甲賀市都市農村交流推進協議会
(農業振興課内)
☎650711 / ☎634592

受入家庭を募集

都市部の中学生と交流しませんか 忍者の里こうかで 田舎体験

水口に春の観光シーズン到来

古城山にバルーンの城が現れる期間中、春の観光シーズンを告げる催しが行われます。

4月17日(金)午前中
あかのみやれいさい
阿迦之宮例祭 (古城山山頂)

古城山や地域の守り神として、水口岡山城の城主・長束正家を奉る阿迦之宮の例祭は、水口の春の風物詩です。



4月19日(日)20日(月)
水口曳山まつり (水口神社周辺)

県の無形民俗文化財に指定されている祭のメインは豪華な曳山。町衆の奏でる水口ばやしを祭を一層盛り上げます。



観光企画推進室 ☎65-0708 / ☎63-4087

甲賀市のランドマークである古城山に豊臣秀吉の命によって築かれた水口岡山城は、当時の最先端技術を駆使した高石垣を備えた織豊系城郭でした。現在は、本丸の北面に野面積みの石垣の一部を残すだけですが、継続的な発掘調査によって、少なくとも本丸は高さ約九メートルの総石垣であったと推定されています。

甲賀の文化財 水口岡山城の石垣

では、本丸以外はどうだったのでしょうか。本丸以外では大手道周辺で石垣が見つかっていますが、二の丸や三の丸などでは地表面観察で石垣を確認することはできません。

国立公文書館が所蔵する『江州水口絵図』には一の丸や三の丸にも石垣があったように描かれていますが、江戸時代初期(寛永年間)に描かれた古絵図では石垣に関する記載は本丸のみです。

これらを解明すべく現在、本丸南側斜面と三の丸虎口で発掘調査を実施しており、程なく、詳細が判明することでしょう。その調査成果を市民の皆さんに対して広く公開するために、現地説明会を開催します。是非とも発掘された水口岡山城の姿をご覧いただきたいと思っております。なお、同日は(一社)水口岡山城の

問い合わせ
歴史文化財課
☎868026 / ☎868216



▲本丸北面の石垣



▲江州水口絵図

水口岡山城跡第三次発掘調査
現地説明会(その二)
本丸南側斜面と三の丸虎口の調査、日時/4月19日(日)13時30分～15時
受付/古城山南山腹 忠魂碑前広場
臨時駐車場/水口小学校グラウンド

会が主催する「よみがえれ水口岡山城2015」の開催期間中です。西の丸に天守型バルーンも登場し、往時の様子を想起させることでしょうか。こちらも併せてご覧ください。

セーフコミュニティこうか vol.24

みんなでつくる安心・安全なまち

対策委員会合同研修会を開催

セーフコミュニティの先進自治体である埼玉県北本市の関係者を講師に迎え、対策委員会合同研修会を1月27日(火)に開催し、外傷サーベイランス委員会や対策委員会の委員など、52人が参加しました。

北本市は、国内10番目のセーフコミュニティ国際認証都市で、現地審査(認証のための審査)では、理論的・体系的な活動展開と、全市民にわかりやすく伝えるための様々な工夫が高い評価を受けました。そこで、現地審査と同じ形で事例発表していただき、認証までの具体的な進め方を学ぶこととしました。

研修会では、北本市の自殺対策委員会や交通安全対策委員会の取り組みの中から、気軽に心の健康状態を確認できるシステム、自殺予防の街頭啓発、スタントマンの実演から事故の危険性や予防対策を学ぶ交通安全教室、危険箇所マップ作成などの事例が紹介されました。また、事例発表後には、本市委員からの質問に答える形で、今後の方向性や課題等について意見交換を行いました。

亀岡市主催セーフコミュニティフォーラムに参加

セーフコミュニティフォーラムが1月31日(土)、京都府亀岡市で開催され、本市から各対策委員会正副委員長など16人が参加しました。

関西圏でセーフコミュニティを推進している亀岡市、大阪府松原市、同府泉大津市、本市の関係者が一堂に会し、ワークショップを通じて相互に交流することで、今後に向けてのアイデアやヒントを得るとともに、既存の取り組みの効果や意義について振り返る機会となりました。



▲セーフコミュニティフォーラムでのワークショップ

危機管理課 セーフコミュニティ推進室
☎65-0665 / ☎63-4619